

令和3年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援B型 事業報告書

1 総括

令和3年度は2年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染症の影響で、法人内の事業所との作業交流の中止や毎月実施している余暇活動で外出を控えるなど、活動が制限される1年となった。感染防止のため、一時的に利用を自粛する利用者もいたが、年間を通して心情面や体調面で大きな問題は起きずに、多くの利用者は概ね安定して通所することができた。

また、3年度も数年前からの課題であるPDCAサイクルによる支援の充実に力を入れて取り組んだが、個別支援計画にグループホームへの入居や短期入所の利用などの生活状況に関することが反映されていないなど、生活環境の視点が欠けてしまうことがあり、長期及び短期目標、支援上の留意点との関連が不十分となっていることなど計画の内容に不備な点が多かった。更に利用者支援においても、利用者への配慮に欠けた言葉かけなど多くの職員の接し方に課題が見られた。この反省を踏まえ、令和4年度は、職員一人ひとりが利用者へ敬意をもって支援にあたる姿勢に取り組むとともにこれを踏まえた計画の作成に取り組むたい。

2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-5
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50人
- 6) 利用現員 75人(令和4年3月31日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員
管理者 1名
サービス管理責任者 2名(常勤換算1.5)
職業指導員 7名(常勤換算6.3)
生活支援員 9名(1名サービス管理責任者と兼任、常勤換算7.4)
目標工賃達成指導員 1名(常勤換算1.0)

職員グループ別内訳

・あかしあグループ

- 職業指導員 3名(常勤換算2.3)
- 生活支援員 4名(常勤換算3.1)

・みどりグループ

- 職業指導員 4名(常勤換算4.0)
- 生活指導員 5名(常勤換算4.3)
- 目標工賃達成指導員 1名(常勤換算1.0)

3 基本理念

一人ひとりの自己実現の支援。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望の持てる生活。

4 基本方針

生き生きと働ける職場
日中活動の保障
豊かな生活の支援
個別支援計画に基づいた計画的な支援
安心できる将来への支援

5 実施事業

《あかしあグループ》

- 1) 就労支援事業
 - (1) 傘の値付け
 - (2) ダイレクトメール封入、封緘、シール貼り
 - (3) 古着の値付け
 - (4) 箱の組み立て（令和3年4月より開始）
 - (5) 小平市報の折込
 - (6) 基盤の解体作業（令和3年度は受注なし）
 - (7) 公園清掃
 - (8) 神社清掃
 - (9) 入所施設清掃（新型コロナウイルス感染防止のため1年間中止）
 - (10) 事務封筒製作
 - (11) 緑化推進事業

- 2) 生活支援事業
 - (1) 夕方生活支援事業
（新型コロナウイルス感染防止対策のため中止）

- 3) 行事
 - (1) 年間計画
 - 5月 食事会（和食さと 武蔵村山店）
 - 10月 食事会（夢庵 東久留米弥生店）
 - 11月 一泊旅行（千葉県旭方面）
 - 12月 忘年会（味の民芸 東大和店）
 - 1月 初詣（小平神明宮）
 - (2) その他
喫茶（月2回）

- 4) 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
準備	9:50～9:55
作業	9:55～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

《みどりグループ》

- 1) 就労支援事業
 - (1) ポスティング作業
 - (2) 古着の値付け
 - (3) 箱の組み立て（令和3年4月より開始）

- (4) 作業マンション清掃
- (5) 事務封筒製作
- (6) 緑化推進事業
- (7) 空き缶つぶし
- (8) ダイレクトメール丁合、封入、封緘、シール貼り
- (9) 公園清掃
- (10) 資源回収

2) 生活支援事業

- (1) 生活支援プログラム (週3日実施)
- (2) 夕方生活支援事業 (週3日実施)
(新型コロナウイルス感染防止対策のため中止)

3) 行事

(1) 年間行事

- 4月 永年勤続表彰式
- 5月 スポーツ (東村山中央公園)
- 6月 スポーツ (西東京いこいの森公園)
- 7月 スイカ・メロン割り
- 8月 ミニゲーム大会
- 9月 DVD鑑賞
- 10月 ミニ運動会 (活動室)
- 11月 秋の一泊旅行 (新潟県苗場方面)
- 12月 クリスマス会 (ツリー作り)
- 1月 初詣 (小平神明宮)
- 2月 DVD鑑賞
- 3月 防災訓練 (親の会との共催)

(2) その他

音楽教室 (新型コロナウイルス流行のため、活動中止)

4) 日 課

開所・送迎	8:30~9:00
朝礼	9:00~9:20
準備	9:20~9:40
作業	9:40~10:40
休憩	10:40~10:50
作業	10:50~11:50
休憩	11:50~13:00
昼礼	13:00~13:10
作業	13:10~14:10
休憩	14:10~14:20
作業	14:20~15:10
作業片付け	15:10~15:15
終礼・お茶	15:15~15:25
送迎・清掃	15:25~16:30
作業点検・記録等	16:30~16:45
職員打ち合わせ	16:45~17:30

6 重点課題・目標

1) 活動

《各グループ共通》

(1) 一人ひとりの利用者のニーズに沿った支援の実施

(支援のサイクル)

- ① 支援計画の共有とそれに基づく支援実施
- ② 支援経過の記録と情報共有
- ③ 意見交換等による支援経過の検証
- ④ 必要に応じた計画の見直し

(必要なニーズまた想定されるニーズ)

- ① コロナウィルス感染症に関する不安の解消
- ② 健康に関する問題
- ③ 精神的な安定に関する問題
- ④ 作業に関する問題
- ⑤ 身体的な機能に関する問題等

【成果と課題】

利用者の状況や支援の経過などについての職員間の情報共有は概ね丁寧に行われていた。作業支援において、利用者の特性に合わせた作業方法を本人に提案する、また利用者の抱える健康問題や身体機能の維持方法等について看護師の助言を支援に役立てた。

数年前からPDCAサイクルを意識した支援の実施に取り組んでいたが、総括に記載の通り利用者支援に対する職員の接し方に多くの問題があった。職員間の内部牽制も弱く、組織風土に大きな問題があると言わざるを得ない。年度後半にこの点が改善に取り組み始めたところである。

(2) 作業活動の充実

- ① 安定した作業提供
- ② 新規作業の開拓
- ③ 作業収入の増加・工賃向上
目標額 7,660,000円
- ④ 利用者の作業能力の維持、向上

【成果と課題】

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、9月に2週間程度、受注作業が途切れてしまうことがあったが、それ以外は概ね安定した作業を提供することが出来た。受注作業が途切れてしまった期間は、事業所内の室内清掃や消毒を行うなど、利用者へ作業提供を行った。
- ② 昨年度末から受注している箱作りの作業については、多くの利用者が携わっており、定期的に受注することが出来た。また、紙パック・白色トレイ回収作業、画用紙の工作作業、教会のトイレ清掃を新たに開始した。
- ③ 小平市の公園清掃受託件数が1か所増加したことや前述の②の通り、新規作業を始めたこともあり、目標の収入を達成することが出来た。また、前年度比で約20万円の増額となった。

目標収入	766万円
収入額	約858万円
差額	92万円
(目標の達成率)	(111%)

- ④ 多くの利用者は、これまで行ってきた作業工程を継続し、安定的に作業を行うことができた。また次のように能力の向上も見られた。
 - ・あかしあグループ
2名の利用者は作業前に毎回、目標の数量を設けることで作業スピードの向上に取り組み、少しずつスピードが上がった。
 - ・みどりグループ
2名の利用者が封筒作成作業で難易度の高い折りの工程を行えるようになった。この他、2名が自助具を使用することでダイレクトメール作業をミスなく取り組めるようになった。

(3) 感染症対策の徹底

①一人ひとりの衛生保持、健康管理に関する情報共有

【成果と課題】

手洗い、消毒、マスクの着用、換気など基本的な感染症対策を実施した。マスクの着用が苦手な利用者へ繰り返し声かけを促したことで、少しずつ着用の時間が伸びている。また、希望する利用者及び職員に対し、新型コロナウイルス及びインフルエンザのワクチン集団接種を実施した。

2) 人材育成

(1) グループリーダーのスキルアップ

- ① P D C Aサイクルの知識・技術の向上
- ② 他の職員への指導力向上

【成果と課題】

日常の利用者支援については、他の職員とよくコミュニケーションを図り、利用者の状況や個別支援計画の共有が丁寧に行われていた。また、全体で共有した支援内容の記録についても作業に偏らず、健康面や心情面についても触れるなど、少しずつ改善が図られている。しかし、前述の通り、個別支援計画、支援、評価に利用者の生活環境への視点が欠けてしまうことがあった。

(2) 職員間の協働連携の強化

【成果と課題】

各職員が担当業務以外のことに関心が薄いという点が昨年度の課題であったが、行事の企画の提案や準備、作業等において担当以外の職員も状況の確認を行いながら協力する姿勢がみられるようになってきている。また、活動中に、職員が臨機応変にフォローし合う場面も少しずつ増えてきている。

(3) 支援スキルの向上

【成果と課題】

総括や1) — (1) の記載の通り。

3) 経営管理

- (1) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行するとともに、試算結果から課題が見えた場合は迅速に対応する。

【成果と課題】

月次試算の分析を丁寧に行い、計画通りに予算の執行ができた。

- (2) 経費削減を徹底する。

- ① 未使用スペースの消灯等節電の徹底。
- ② 整理整頓により、備品、消耗品等の在庫管理を徹底する。
- ③ 印刷物については必要枚数の確認や、枚数の多いものについては試し刷りを行うなど無駄な印刷を行わないようにする。

【成果と課題】

消耗品の在庫管理や印刷前の確認などは概ね出来ていたが、未使用スペースの消灯など節電の徹底は不十分であった。

7 事故等報告

- 1) 4月 送迎中、当方車両が停車していた車両に接触し、相手の車両の右前方及び右ドアが損傷した。運転手、同乗者、相手方に怪我人はいなかった。警察に通報し、法人加入の車両保険で破損箇所を弁償した。
- 2) 7月 作業中、当方車両の後部タイヤが民家の外階段に接触し階段が破損した。運転手、同乗者に怪我人はいなかった。警察に通報し、法人加入の車両保険で破損箇所を弁償した。

- 3) 7月 頓服薬を服用する際、副作用を抑えるための痙攣抑制薬を渡しそびれてしまった。服用後3時間経過した17時に発覚し、家族へ連絡を行った。家族からは副作用やその他健康状態に異常はみられないとの報告があった。服薬漏れの原因は、頓服薬服用に関する明確な取り決めや、服薬に関する情報共有が行われていなかったことによる。その後の対策として、服薬時の留意点や薬の保管方法等を明確にし、職員間で共有した。

8 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
 2) 開所日数
 (1) 週開所日数 5日間
 (2) 開所時間 午前8時30分～午後4時
 (3) 年間延開所日数 241日間
 (4) 平均活動時間 7時間

9 利用状況

- 1) 利用者延人員 12,751人 (前年度 13,305人)
 2) 1日平均利用人員 52.9人 (前年度 55.0人)
 3) 体験実習実人員 4人 (前年度 8人)
 4) 体験実習延人員 16人 (前年度 45人)

10 利用者状況(令和4年3月31日現在)

1) 年齢

20歳未満	0名		
20歳以上30歳未満	13名		
30歳以上40歳未満	17名		
40歳以上50歳未満	12名		
50歳以上60歳未満	12名		
60歳以上70歳未満	13名		
70歳以上	8名	平均年齢	46.5歳

2) 障害の状況

愛の手帳2度	11名	(内身障手帳所持	1名)	
愛の手帳3度	16名	(内身障手帳所持	2名)	
愛の手帳4度	17名	(内身障手帳所持	4名、精神保健手帳所持	2名)
身体障害者手帳1級	10名	(内愛の手帳所持	2名)	
身体障害者手帳2級	10名	(内愛の手帳所持	2名)	
身体障害者手帳3級	4名	(内愛の手帳所持	1名、精神保健手帳所持	1名)
身体障害者手帳4級	2名			
身体障害者手帳5級	3名	(内愛の手帳所持	2名)	
身体障害者手帳6級	2名			
精神保健手帳2級	5名	(内愛の手帳所持	1名、身障手帳所持	1名)
精神保健手帳3級	4名	(内愛の手帳所持	1名)	
手帳なし	1名			

3) 通所手段

送迎車利用	35名	(内6名交通機関、内1名徒歩等と併用)
交通機関利用	24名	(内6名送迎車両、内1名徒歩等と併用)
徒歩等	20名	(内1名送迎車両、内1名交通機関と併用)
家族送迎	3名	

4) 居住状況

管内居住 63名 管外居住 12名

5) 性別

男性 61名 女性 14名

1.1 作業収益及び工賃等

1) 作業総収入	8,579,707円	(前年度 8,391,122円)
2) 工賃総額	10,204,800円	(前年度 11,402,520円)
3) 平均工賃	月額 11,276円	(前年度 13,656円)
	日給	802円 (前年度 855円)
	時給	218円 (前年度 232円)

1.2 生活支援プログラム実施状況

1) 実施日数

(1) PG実施日数 89日

(2) 週平均実施日数 2日

2) 利用者(令和4年3月31日現在)

(1) 利用者数 2人

(2) 利用者延人数 112人

3) 支援者(令和4年3月31日現在)

(1) 職員 2人

(2) アルバイト 4人

(3) 職員延人数 22人

(4) アルバイト延人数 90人

4) 内容

(1) ウォーキング 112回

(2) プール 0回

1.3 夕方生活支援事業実施状況

新型コロナウイルス感染防止対策のため実施しなかった。

1.4 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

1.5 防災計画

災害時避難訓練を年2回実施し、3月に小平手をつなぐ親の会と法人が共催で実施した防災訓練に参加した。